

R1技術検討会(当日)における各委員指摘事項と対応について

※検討会場で回答したものは除く

番号	発言者	該当ページ	意見等	対応
本中三川				
1	井上(誠司)委員	p5	WEAVEに限らず、本事業の実施を通じて地域振興につながった事例はないか。	確認したところ、本地区の受益農家の方がWEAVEほか地域活動を行っている事例はありませんでした。それ以外の地域振興については、(3)事業による波及効果①②に記載させていただいております。
2	大熊委員	p5	事業実施後の環境調査について、生息数まで把握しているか。	確認したところ、生息数は把握していません。
ヤマウス				
1	大熊委員	p3	労働時間の変化を示した表について、計画と評価時点の数値が一致しているが、偶然同じ数値になったのか、聞き取りの仕方によるものか。また、事前説明の時点では小数1位まで一致していたが、今回は整数となっている。	労働時間は、JA宗谷南が預託農家への聞き取りで確認しておりますが、具体的な作業時間の聞き取りは困難であったため、縮減割合を確認しています。事業計画と同等の2割程度との回答が多数であったため、評価時点の労働時間は事業計画と同じ値で整理したものです。また、数値は事前説明でのご指摘を踏まえ、他地区との横並びをとるために整数表示としています。
2	大熊委員	p5	研修終了後の就農者は毎年1名前後とのことだが、新規就農者は本地区の受益者となっているのか。	地区内の認定農業者のうち1名(30代)が、研修を終えてH30年度に地域で新規就農しています。
居辺				
1	佐久間委員	p4-5	本地区も畜産が関係しているため、生乳生産量や牛の頭数といったデータも記載できるとよい。	地区内でのデータは確認できませんでしたが、上士幌町における変化を確認しましたので、事業による波及的効果の1つと捉え、評価結果書(4 事業効果の発現状況 (3)事業による波及的効果等)に以下の内容を追記したいと思います。 ↓ ④ 生乳生産量の増加 他府県の生乳生産量の減少を契機とした生乳供給の全国的な逼迫を背景に、上士幌町全体で、乳用牛はH19の15,114頭からH30の18,096頭へと約3,000頭増加し、それに伴い生乳生産量もH19の81,955tからH30の111,891tへと約30,000t増加している。
2	波多野委員	p6	今後の課題のうち畑作経営の部分について、「ICTの積極的な導入が図られている」と言いつつ、その後では「ほ場の整備水準が未だ不均一」と書かれており、矛盾していないか。	ご指摘を踏まえ、以下の赤字部分のように修正したいと思います。 ↓ 労働力不足とそれに伴う規模拡大を背景に、収穫作業等のコントラクターの利用やICT等の積極的な導入が図られている一方だが、未整備のほ場の整備水準が未だに不均一であり、土づくりや4年以上輪作体系の確立を目指すうえで課題となっている。
			(事業実施後の環境調査)	(本中三川地区と同様、事業実施後の生物の生息数は把握していません)
本中三川・居辺の共通事項				
1	井上(京)委員	本中三川→p3 居辺→p3	生産額について、()の数値が補助金抜きのものであれば、評価時点の数値にも()をつけないと整合が図れないのではないかと。	ご指摘のとおり評価時点の数値も補助金抜きのものであり、検討会では、()を追加する方向でお話させていただいたところです。一方で、()をつけた場合、小麦等の作物で評価時点が()書きの数値のみになり、体裁的にやや不自然にも思われるため、表下の注意書きで以下のように、「事業計画欄のうち()の数値」が補助金を除いたものであると補足することとしたいと思います。 (本中三川・居辺共通) ↓ ※事業計画欄のうち()の数値は、補助金を除いた場合の生産額。
2	大熊委員	本中三川→p5 居辺→p6	環境の変化に関して、当方の事前意見としてお伝えしたかったのは、「事業前と事業後の生息数に変化があったかどうか書かれていないため、目視等によるおおよその様子で良いので、事業後の生息数に変化があったのか無かったのかまで記載してほしい」ということ。生物がいたという情報だけでは、「生態系に大きな変化はなかった」とまでは言えないと思われる。	数種類の生物について生息は確認しているものの、事業実施前後での定量的な比較についてはデータがなく困難であることから、以下の書きぶりしたいと思います。 <本中三川> ...事業実施前に確認されたエゾウグイ、フクドジョウ等が現在も生息していることが由仁町への聞き取りにより確認されており、事業実施前から生態系に大きな変化はなかったものと考えられる。 <居辺> ...現地調査の結果、アメマス等の魚類やノビタキ等の魚類が生息していることが確認され、事業実施前から生態系に大きな変化はなかったものと考えられている。